

第1回懇談会の主な意見等

●施設計画について

〈ビジョン1 関連〉

1. 教育の質を高めるための空間計画、情報・メディアを活用する空間計画、先生たちが良い教育をするために、先生たちの生活のための空間計画、生徒達が落ち着いて生活をできて、使いやすい空間計画、地域との交流のための空間計画をして欲しい。
2. 長寿命で永く愛され、維持管理のしやすい施設にして欲しい。
3. あれもこれもと詰め込むのではなく、80年先に対応できるフレキシブルな校舎が良い。
4. 図書館などが中心となってラーニングセンターの役割を果たすと良い。
5. ICT環境がどんどん変化するので、それに対応できることを期待する。
6. コスト面だけでなく、生徒の学習・生活空間である学校施設の専用性を第一義的に考えて計画して欲しい。
7. 中瀬中学校は部活がとても盛んなので、体育館で多様な運動ができると良い。
8. 教員にとっても子どもたちにとっても使い勝手の良い校舎になると良い。

〈ビジョン2 関連〉

1. 省エネルギーや自然エネルギーなどのサステイナブルに配慮して欲しい。
2. コミュニティスクールとして、地域にひらかれた学校として、柔軟性のある学校にして欲しい。
3. ユニバーサルデザインやインクルーシブに配慮にして欲しい。

〈ビジョン2・3 関連〉

1. 耐震、防犯、感染症の対策や避難所としての機能も含めて、安全・安心を確保して欲しい。

●その他（校舎配置について）

1. 校舎の位置が変わると周辺環境が変わるので、校舎は現在の配置か、変わる場合は音や校庭の砂への対応を考え、近隣のことを考えて進めて欲しい。
2. 建物だけでなく、校庭も見据えて考えて欲しい。